

Quick調査レポート

「COVID-19影響度アンケート」

2021年2月第3週（自由回答抜粋）

レポート作成日：2021年3月16日

Quick調査レポート

「COVID-19影響度アンケート」 2021年2月第3週

調査概要

調査方法	インターネット調査 ※TenQuick使用
調査地域	全国
調査対象	医師（研修医を除き、診療科を問わず） ※プラメド医師会員
有効回答数	206サンプル - 病院_HP：103サンプル - 診療所_GP：103サンプル ※20床区切り
調査実施期間	2021年2月17日～2月19日
調査主体	株式会社インテージヘルスケア Quick Survey室

自由回答（抜粋）

COVID-19流行に関して医療現場の当事者として感じていること、一般の人に知ってもらいたい事柄など

【精神的な負担】

- 当院勤務者全員に、県外移動規制、複数での外食禁止などがあり、医療従事者のみ未だに制限・罰則をつけるのがいかななものかと・・・ [30代・眼科HP]
- 一般の方々以上に日常生活が制限され、go toなどの恩恵を受けられていない点。 [30代・皮膚科HP]
- 直接のコンタクトが医師間、業者との間ともに激減して雑談の中で得られる情報が全く入ってこなくなっています。人間関係の構築も新しいスタッフとはなかなかフレンドリーになれません。どこの職場もおなじかもしれませんが、スタッフとの連携が必要な部署ではマイナスだと思えます。 [50代・小児科GP]
- 私たち医療従事者は感染の危険にさらされながら診療を行っている。それはもちろん仕事だから、それが使命だからで自慢するつもりはない。ただしバッシング、差別はしないでほしい。子供の保育を断られたりという話があったのでそれはあまりにひどいと思った。 [50代・一般内科GP]
- 医療業務以外でも遊びに行けない、講演会等で他の医師とのコミュニケーションが激減した。 [60代・腎臓内科・透析科GP]
- 緩和ケアの患者とのスキンシップが減った [60代・麻酔科・ペインクリニックHP]

【経営不安・経済不安】

- 飲食店への休業補償がある一方で、コロナ対応民間病院で給与・賞与が減らされるのはまったく納得できない。 [40代・消化器外科HP]
- 面倒な手続き無しで、診療所を助けてほしい。老人なので、複雑な手続きだと、申請出来ない。 [70代以上・一般外科GP]
- 助成金の手続き、COVID-19関連の届出等の事務手続きが煩雑。もっと単純に資金がほしい [60代・耳鼻咽喉科GP]
- 仕事の内容は煩雑になり精神的にも負担が大きいのに給料を減らされていること（病院の収入が減っていること） [60代・小児科HP]
- 病院経営がかなり逼迫している。特に公的病院でないところは。
[50代・消化器外科HP]
- 病院経営が苦しくなっているので、診療報酬点数を上げてもらいたい。
[40代・一般内科GP]

【一般の方へ】

- もっと基本的な感染対策について知ってもらい、それだけを完璧にしてもらいたい
[50代・小児科GP]
- 自身は健康であっても周囲にいつ感染させるかを考えて行動していただきたい
[30代・呼吸器内科HP]
- COVID19患者の診療に時間を取られるので救急の不必要な受診を避けてほしい。例えば、救急車要請に5万円、救急受診に3万円を自費でとられる時に救急車を呼ぶか外来受診をするかどうかをイメージしてほしい。 [40代・腎臓内科・透析科HP]
- 自分は大丈夫だからマスクをしない、ではなく、相手のことを考えてマスクをつけてください。 [50代・消化器内科HP]
- 診察中にマスクを取らないで欲しい。 [30代・一般内科GP]
- 一般の人たちは色々我慢しているというが、私たちがしている我慢に比べたらはるかに軽いことだと思う。なぜ協力してくれないのだろうと強く思う。
[30代・腎臓内科・透析科HP]

【報道メディアへ】

- 最近間違った情報もあって、混乱している。新型コロナウイルス感染に対して恐怖心を煽り過ぎている。特にマスコミは。 [70代以上・一般内科GP]
- メディアが正確な情報を流さないせいで一般人が偏った情報を持っており、訂正が大変 [40代・一般内科GP]
- マスメディアは、感染やワクチン接種について過剰な不安を煽る報道は止めてほしい。 [30代・一般内科GP]
- メディアでの、自称識者のいい加減な発言に憤りを感じる。公衆衛生・統計学の識者は統計的な範疇で発言をとどめるべき。何をすればいい、すればよかったなどに関しては、彼らは素人。現場を全く分かっていない者がわかったような発言をするべきでない。 [40代・糖尿病・代謝・内分泌HP]
- メディアでは、ワクチンの副作用を囃し立てて、騒いでいる。感染を収束させたいのか、オリンピックをやりたいのか、そうでないのか。今の状況を考えると、ワクチンを打たない選択肢はない。そうでないなら、指をくわえて経済的に困窮してってください。まったく以前と同じ世界に戻ることはできないのに、そのことを理解・受け入れようとせず、重箱の隅を突くような文句ばかり言うメディアや一般人にうんざりします。 [40代・小児科HP]

【政府・厚労省等の対策】

- 医療現場ではCOVID-19の影響で収益が激減しているにも関わらず、オンライン資格確認システムの導入で、設置費用などで高額な見積りをだしてくる業者ばかりであり、それほどこうしたシステムを国は導入、普及させたいのならば、そうした設置費用などすべて全額国のお金で普及させてもらいたい。 [50代・一般内科GP]
- 医療従事者には感染予防の観点から行動制限があり、一部の人しか利用できないGo Toキャンペーンなどは非常に不公平な制度である。 [50代・消化器内科HP]
- 陽性から隔離までと治療介入のシステムが全く話にならないぐらいできていない。ホテルに入るまで2日かかっていたりその間に広がるし、軽症早期にアビガン投与すべき [30代・麻酔科・ペインクリニックHP]
- 重症者、感染者、検査の陽性率などのデータがすぐに閲覧できるようにしてほしい。 [40代・整形外科GP]
- 政府がこのウイルスの流行を阻止したいのか悪化させたいのかが全くわからない。政策の迷走ぶりに頭が痛くなる。 [50代・眼科GP]

【日本医療の構造的問題】

- 他国と比べて感染者数が少ないことから、日本の医療機関が感染者を少数しか受け入れられないのは大いに問題があると批判する識者がいるが、それは無知からくる認識であると思う。COVID-19流行前より、もともと低い診療報酬で多数の患者を診なければ経営を維持できないほどの状況なのに、そこに新たにCOVID-19の対応が加わり、多くの人的・経済的リソースを割かねばならないので、少数だけでも感染者を受け入れている病院(特に私立病院)は称賛されるべきだと思う。 [30代・放射線科GP]
- 高齢者のCOVID-19患者に対して、ECMOや人工呼吸器の使用頻度が異常に高すぎる。全て公費になるために家族や医療従事者側も使用する方向に傾くのであろうが、高齢者における救命率を明確にして、適切な使用ガイドラインを早急に設けるべきである。高齢者にECMOや人工呼吸器を使用すれば、改善離脱し退院するまでに時間が掛り、その結果、中高年の患者の入院ができなくなるという悪循環が起こっている様に思われる。 [40代・呼吸器内科GP]
- コロナ前、政府厚生労働省は病院、ベッド、医療従事者を減らし診療報酬の総額を減少させることに懸命になっておりましたが、パンデミックの危険性を全く考慮していなかったという責任の重さをもっと考えるべきです。 [60代・眼科GP]
- オンライン診療では、検査も出来ず、継続は困難である。 [60代・耳鼻咽喉科GP]

【新型コロナウイルスワクチンについて】

- 単純に高齢者優先とするのではなく、重症度や介護度が高く自身の接種が容易ではない高齢者に関わる家族・介護者にワクチン接種を勧める方が効果的だと思う。
[40代・一般内科GP]
- やむを得ないとは思いますが世知辛い世の中が続きそうです。積極的にワクチン接種を受けて集団免疫を作る方向に向かうと良いと思います。 [60代・産婦人科GP]
- 当院のワクチン反対論者の理事長が、職員全員に、ワクチン打つなのパワハラがひどくて困っている。 [40代・乳腺外科GP]
- 非医師会会員は、ワクチンの通達がこなかった [30代・腫瘍内科GP]
- ワクチンを打ってよいのかと聞かれるが、一般的な抗アレルギー剤や降圧剤などを内服している人は制限なく接種できるということをメディアで報道して欲しい
[50代・皮膚科GP]
- 現在、ワクチン接種に関してバタバタと準備が進んでいるが、はっきりとした基準がなかなか決まらないため、末端の開業医としては手伝いたい気持ちはあるが、決めかねている状態である。 [60代・一般内科GP]

【その他コメント】

- 誰も悪くない。早く収束してほしい。 [30代・消化器内科HP]
- 疲れている！！ [60代・精神・神経科GP]
- 患者さんからねぎらいの言葉をかけられると嬉しい。 [40代・一般内科HP]
- 学会や研究会、MR面談はオンラインの普及で便利になった [40代・腎臓内科・透析科HP]
- オンライン学会が面白くない [40代・消化器外科HP]
- 学会などもWEB講演は院内での観覧になるので、呼ばれてしまう。結局話を最後まで聞けない、見えない。情報のupdateが遅れてしまうのが心配、特に地方の小さな病院なので、ただでさえ近隣の情報が入りにくいので。 [30代・一般外科HP]
- 地方の場合、流行っていることを実感しません [60代・眼科GP]

Healthier Decisions

我々は情報に命を与え、医療を楽しむ人、医療を提供する人、
健康を願うすべての人々が納得の選択をするための力となります

 **intage** 株式会社インテージヘルスケア

「TenQuick」に関するお問い合わせ・ご連絡先

株式会社インテージヘルスケア
Quick Survey室

[本社] 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台4-6 御茶ノ水ソラシティ13階
TEL: 03-5295-1655
Email: ant-tenquick@intage.com